



MBT NEWS LETTER

第171号
'22/09/30

2020/6から始めた新型コロナ感染対策無料相談 奈良医大感染症センター:笠原教授の全面的支援を得て 現地指導、WEB相談、セミナー等 全44回を実施

- ・奈良医大とMBTコンソーシアムは、新型コロナウイルスが国内で感染が始まった2020年春先から「MBTコロナ克服キャンペーン」をスタートさせ、コロナ不活化評価、発熱外来の提案や医学的に正しい感染対策相談等の社会貢献活動を進めて参りました。
- ・特に、新型コロナウイルスは我が国にとって初めて体験する感染拡大であり、国民生活や企業活動も大混乱に陥る中であって、いち早く“コロナ感染対策無料相談”を全国に向けて発信し、WEB相談や現地に出向いての感染対策指導などを行い、感染防止に一役買ってまいりました。
- ・現在は、Withコロナが定着したこともあり相談も落ち着いてきていますので、ここで「MBTコロナ克服キャンペーン」の取り組みを総括して本ニュースレターでお知らせいたします。これまでの実施概要を表に示します。
- ・これらの成果は、**感染症センター：笠原敬教授の、休日・夜間も厭わず真摯にボランティアで対応**いただいた結果であり、**社会からも大きく評価を得ることができました。**

これまでのMBTコロナ感染対策相談の実施概要

実施方法分類	回数	主な実施先
現地指導	22	東大寺（修二会）、奈良ホテル、奈良商店街、教会、音楽ホール 他
WEBによる相談	8	日本経済新聞イベント、奈良市内中学校、企業数社 他
セミナー (現地、WEB含む)	6	けいはんな学研都市推進機構、京都市内工務店グループ、 他
感染対策ガイドライン 監修	8	吉野町、観光品質協会、建築雑誌、経済産業省



現地で指導（東大寺）



セミナー開催（けいはんな推進機構）



商店街で指導（奈良市内）

会員の皆様へお願い

- ・感染症センター：笠原敬教授は“未知の感染症の芽は今でも世界のいたるところで生まれており、グローバル時代で世界の隅々まで人々が行きかう現代には、今回の新型コロナウイルスの感染拡大と同様に高頻度で感染症拡大が起きうる”として、感染症専門医の育成、新たな医学研究を目的として教育研究支援のための寄附金（奨学寄附金）を募っておられます。

（詳細は裏面参照）

- ・寄附にご協力を検討いただける企業様は、下記 URL/QRコードよりお問合せください。追って、寄附の方法を感染症センターより、ご案内させていただきます。

<https://forms.gle/QDeEgQ3EJ27zw42P7>



発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内

（公立大学法人）奈良県立医科大学
担当 塩山

TEL : 0744-29-8853 (直通)、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp



教育研究支援のための寄附金（奨学寄附金）のお願い

奈良県立医科大学感染症センターはSARS（重症急性呼吸器症候群）が香港を中心に流行した2003年に設立されました。以来、20人以上の感染症専門医を輩出し、奈良県を中心として感染症の診療、予防、研究、教育を行って参りました。現在も8人の医師が感染症専門医を目指してトレーニングを受けています。

医師の育成、なかでも医学研究においては様々な研究費によってその費用がまかなわれていますが、これらの資金は種々の財政事情を反映して年々縮小される傾向にあり、厳しさを増しています。また特にコロナ禍以降は当科が全ての新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ窓口を担っており、研究費獲得のための時間が確保できなくなっています。

そこで感染症センターでは当科の教職員や大学院生の教育研究活動支援策として、教育研究支援のための寄附金（奨学寄附金）を募ることにいたしました。お受けした寄附金は、本学の奨学寄附金のルールに従い、当科の医師育成の充実、ひいては感染症診療の充実を通じて国民の皆様健康増進につながりますよう有効に活用させていただきます。

感染症センターへの寄附をご検討いただける場合は、大変お手数ですが代表0744-22-3051にお電話いただき、「感染症センター医局」におつなぎいただくか、下記フォームから必要事項をご記載いただきますようお願いいたします。

<https://forms.gle/QDeEgQ3EJ27zw42P7>

